

市議会だより No.63 令和元年 11月1日



きたあきた

9月定例会などの内容をお伝えします。

9月定例会の審議	P 2
議案等表決状況／人事案件	P 3
常任委員会審査報告等／ 林活議連研修／請願・陳情	P 4～5
一般質問	P 6～10
委員会所管事務調査報告	P 10
臨時会	P 11
決算特別委員会	P 12
議会中継閲覧の仕方など	P 13
世界から見た「きたあきた」	P 14

収穫の秋



一般会計 2億9660万4千円増
総額244億1632万2千円



9月定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 平成30年度各決算の認定
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 北秋田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

令和元年北秋田市議会9月定例会は、9月9日（月）から10月7日（月）までの29日間の会期で行われました。9月定例会では、条例案4件、予算案7件、各決算認定が24件その他議案7件、陳情2件、意見書案1件の45件が提案され、陳情1件を除く44件がそれぞれ可決、認定されました。なお、最終日に提出された人事案件2件、発議案5件については、それぞれ同意、可決されました。

主 な 補 正 予 算	補 正 予 算 額
市街地循環バス運行委託費	3, 9 2 6, 0 0 0 円
あいかわ保育園園舎大規模改修工事費	8, 4 7 8, 0 0 0 円
子育て世帯等移住者住宅支援事業補助金	4, 5 5 0, 0 0 0 円
市景観計画策定業務委託費	4, 7 3 0, 0 0 0 円
合川駅前公民館及び合川公民館解体工事設計委託	5, 5 3 3, 0 0 0 円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明				共産党 議員団			無党派		
			佐藤 重光	虻川 敬	杉淵 一弘	佐藤 文信	松尾 秀一	松橋 隆	佐藤 光子	大森 光信	中嶋 洋子	黒澤 芳彦	堀部 壽	小笠原 寿	武田 浩人	関口 正則	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	山田 博康	福岡 由巳	長崎 克彦
【令和元年9月定例会／令和元年10月7日採決】																						
陳情第18号 市議会として、秋田市新屋への地上イージス 配備反対の意思表明を求める陳情		継続 審査	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	
認定第1号 平成30年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の 認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	
認定第4号 平成30年度北秋田市介護保険特別会計歳入歳 出決算の認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	
認定第23号 平成30年度北秋田市病院事業会計決算の認定 について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

陳情第18号

(※継続審査とすることについて)

反対討論

山田 博康 議員

継続審査ではなく、北秋田市議会として、また議員個々の責任において採決するべき。

賛成討論

佐藤 光子 議員

現時点の情報と状況での判断は無責任。県や秋田市の状況を踏まえた上で判断すべき。

反対討論

板垣 淳 議員

防衛情報を秘密にする保護法に賛成した人が、情報不足で判断できないとは矛盾。

賛成討論

武田 浩人 議員

秋田市議会と県知事が再調査の結果を待つて判断することしたことは大変重要である。

反対討論

福岡 由巳 議員

防衛省の計画は核ミサイル想定への迎撃基地。核の危険性から陳情をすぐ採決すべき。

認定第1号

反対討論

久留嶋 範子 議員

実質単年度収支は2年連続

赤字。無駄遣いのキティ事業は、市民からも批判がある。

賛成討論

大森 光信 議員

個人市民税の増額や施策の成果も随所に見られた。大型事業の効果がさらに現れることを期待する。

反対討論

福岡 由巳 議員

実質単年度収支の急激な低下と赤字転落は問題。市民の暮らしを充実する財政改善を。

認定第4号

反対討論

板垣 淳 議員

保険料を値上げしなくても会計は大丈夫だった。議員は市民の生活に寄り添うべき。

反対討論

福岡 由巳 議員

事業計画なしの介護保険料大幅値上げは論外、かつ事業初年度の不用額は多すぎる。

認定第23号

反対討論

福岡 由巳 議員

多額の指定管理料が市へ返納されたが、今この期に本来の納付制度に改正すべき。

賛成討論

杉淵 一弘 議員

指定管理料は、努力の結果

年々減少傾向にあり、今後とも効率的経営が期待できます。

反対討論

三浦 倫美 議員

医師確保、待ち時間改善、指定管理料のあり方等厚生連との意見交換が不十分である。

人事案件

9月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

栄財産区管理委員

の選任について

- ◎ 田村 信夫 氏 (再任)
- ◎ 加賀 昇 氏 (新任)
- ◎ 岩谷 政雄 氏 (再任)
- ◎ 佐藤 金一 氏 (新任)
- ◎ 齊藤 春夫 氏 (再任)
- ◎ 藤嶋 功 氏 (再任)
- ◎ 村上 儀平 氏 (再任)

人権擁護委員候補者

の推薦について

- ◎ 吉田 幸子 氏 (新任)
- ◎ 柴田 榮則 氏 (新任)

総務文教常任委員会

イージス反対陳情は

継続審査

本委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件、単行議案1件、陳情2件の、計6件でした。

循環バス本格運行へ

予算案について総務部関係では、循環バス運行委託について、委員から「実証運行をもとにルートなど工夫されていると思うが、より利用していただけるように周知方法や分かりやすい案内などの工夫はどのようなになっているか」との質疑があり、当局からは「昨年度実績を参考に、おおむね同様のルートだが、より利用しやすいルートおよび時間へと微調整していきたい。周知等については、市のホームページ、広報誌、各報道機関を通じて周知をしていきたい」との答弁がありました。財務部関係では、委員から工事請負費について「今後、老朽化する箇所が増えていくなかでどのように対処していく

のか」との質疑があり、当局からは「個別施設については、すべてを点検するということが、現在、点検マニュアルを作成している。壊れる前に直すということにつなげていきたい」との答弁がありました。以上の審査を踏まえ、全会一致で可決すべきとしました。

次に陳情「市議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の意思表示を求める陳情」については、様々な意見が出されましたが、その中で「このイージス・アショアについては、どういったものなのかをしっかりと多くの正しい情報をもって判断しないといけない。これから明らかになっていく情報もあり、現時点での状況と情報で判断すべきではない。国や県、秋田市の状況を踏まえ判断すべきであるため、継続審査を求める」との意見があり、採決の結果、賛成多数で継続審査とすることに決しました。

(委員長 大森 光信)

市民福祉常任委員会

旧姓の印鑑が実印可能に

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案4件、単行議案4件の計10件でした。印鑑条例の一部を改正する条例について、「改正する主な理由は何か」との質疑あり、「旧姓を使用しながら活動している方が増えており、印鑑登録についても旧姓の印鑑で実印として使用できる改正である」との答弁がありました。

基金は介護事業

安定運営に活用

令和元年度一般会計補正予算では、「新たに6つの自治会が防犯街灯を要望されましたが全て完了なのか」との質疑があり、「要望のあった自治会では本予算で対応。今後の要望は新年度予算での対応」との答弁がありました。また、「過年度分病院事業会計負担金精算額が非常に大きくなっています。この仕組みについて検証はしているのか」との質疑があり、「実績見込み等を精査し、経営分析も依頼しています。ここ2、3年大きな返還金が発生しており、当初の契約について年度内に見直しを含め減額する事はできないかと病院と協議をしてきた」との答弁がありました。また、「介護保険特別会計補正予算では、「基金残高が約4億円以上あり現状をどのように考えているのか」との質疑があり、「介護給付費の急激な増加の際にも保険料、負担金を上げることなく安定的に介護保険事業を運営するため」との答弁。また、「今後、施設の利用者が増加することで保険料が高くなることで予想されていますが、その対策への取り組みについて」との質疑があり、「要支援、要介護者の重度化防止のため、介護予防事業に取り組んでいる」との答弁。以上の審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 佐藤 文信)



3つの常任委員会

産業建設常任委員会

3D連携を基軸にした 観光費の減額

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、単行議案2件の計6件でした。令和元年度北秋田市一般会計補正予算所管分について、商工観光課関係では、観光費の減額について「東北観光復興対策交付金の3D連携を基軸にした交流拡大事業が不採択になったことにより減額した」との説明がありました。

委員からは「事業の内容と不採択になった理由」について質疑があり、当局からは「多言語のウェブ作成、台湾の訪日メディアへの情報発信、台北のアンテナショップによるプロモーションイベント、外国人の旅行エージェントの招へいなどを大館、角館、小坂、北秋田の4市町で事業を展開する計画をしていた。また、不採択の理由については示されていない」との答弁がありました。

委員からは「与吉野線の現在の状況と今後の管理」について質疑があり、当局からは「橋梁は、老朽化による補修もできないため昨年撤去したが、その他は通れる。また、交通量は減っている状況である。廃止になると管財係での管理となる」と答弁がありました。

市道路線の新設認定については、「今年度建設中の市営住宅南鷹巣団地前の路線外2路線の終点変更等により新設するもの」と説明がありました。

以上、審査の結果、当委員会に付託された案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 堀部 壽)

市道路線の

廃止と新設

市道路線の廃止について、



新設認定された市道

林活議連研修

北秋田市・森林・林業・林産業活性化議員連盟は、7月7日に県立北欧の杜公園で開催された『2019あきた水と緑の森林祭』に参加しました。

この森林祭は森林の持つ公益的機能や森づくりの活動の重要性について理解を深め、県民参加の森づくりを一層推進していくことを目的に毎年県内各会場を移して開催されています。式典参加後、記念植樹として、関係者や一般参加者らとイタヤカエデやハナミズキなど6種類の苗木を植え、自然を守ることの大切さについて理解を深めるとともに、環境保全の意識を高めました。



植樹後の記念撮影

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	秋田県山村・過疎地域振興協議会 会長 佐々木 哲男	採 択	提 出
市議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の意思表示を求める陳情	ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田県民の会 代表委員代表 川野辺 英昭	継続審査	

一般質問

一般質問は、9月10日・11日に行われ、8名の議員が登壇しました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



久留嶋 範子（共産党議員団）

高齡化率は37・1%
 7月1日 前年度比0・8%上昇
 本

北鹿新聞
 令和元年 9月16日号

A woman with short dark hair, wearing a grey blazer over a white top, is speaking at a wooden podium. A microphone is in front of her. A yellow pin is visible on her lapel.

有利な子育て制度を

虻川 敬（新創会）



Q 子育て、出産に関する当市の助成制度を、さらに充実し、他自治体より有利な支援制度や助成制度にできないか。

A 現在交付されている子育てクーポン券の使用用途を現在の粉ミルクや紙おむつの購入、一時預かり事業の利用代金以外でも使用できるような早めに検討してゆく。市独自の厚い支援策を講じているが経済的な負担軽減と新進的な不安の解消の両面から公平性を考慮しながら有効な施策の検討を重ねてまいります。

Q 子育て支援の情報告知等をもう少しわかりやすくする必要があるのではないか。

A 当市では、市ホームページや広報、子育てフェイスブック、市民病院の小児科待ちあいスペースの各種パンフレット設置、子育てカレンダーの発行により情報を発信しておりますので今後も市民目線での見やすさ、わかりやすさを研究しながらより多くの方々へ周知に努めてまいります。

Q 子育て関連機関との情報共有体制は妥当か。

A 保健センターの母子手帳交付や健診、訪問事業により必要な情



人気のドリームワールド

報を共有しておりますので保護者からの問い合わせはすべて担当窓口にて集約され、個人情報に配慮しながら随時対応させていただいております。

Q 子育てしやすい街づくりについて、新たな環境整備や施策などの今後の展望は。

A 現在、包括的なサービスを切れ目なく提供する子育て世代包括支援センターの設置に向けた検討を進めておりますが、引き続き子育て世代や社会的なニーズの把握に努めながら、ハード、ソフトの両面から子育てしやすい街づくりとよりよい子育て支援策の整備を図ってまいります。

児童館の耐震化は

大森 光信（みらい）



Q 市内5施設の利用者数等から、市はどのように考えているか。

A 鷹巣西児童館の1日平均利用者数は、平成27年度の49・9人に対して平成30年度は5人。

Q 公的に子供を預かる施設として、耐震工事を行っているかが安全を確保する上で非常に大事。これらの施設は耐震工事を行っているか。

A 耐震化や耐震診断を義務づけられていない。築年数や施設の状態を確認しながら必要に応じて実施をしていく。

Q 旧鷹巣西小学校近くにある西児童館、統合する予定となつている鷹巣中央小学校に隣接している鷹巣中央児童館は、現在のまま継続していくのか。

A 今後の学校統合に伴う児童館の利用状況や需要の変化を把握しながら、規模や管理のあり方などを検討していく。

Q 森林環境譲与税を木材利用促進の一環として、市内住宅の市産材利用への補助や移住者住宅への支援等は検討できないか。

A 地域のニーズや特性に応じた市単独補助事業についても今後検討していく。

Q 持続可能な森林経営あるいは



老朽化が進む児童館

林業の成長産業化を目指す上で、F M、C O C 認証を取得する必要があると考える。市は、他産地との差別化、市産材のブランディングを図る施策が必要と思うがどうか。また、助成や補助制度を策定し、森林認証や認証林の利用を促進するべきではないか。

A 森林所有者や素材生産から製品の加工、流通に至るまでの関係者によるネットワークの構築が必要となること、また、F M 認証コストやC O C 認証における日常管理のコスト高もあり、慎重に検討しているところ。助成や補助制度等につきましても、森林認証の方向性が固まった段階においてさらに検討していきたい。

げんきワールドの後は

中嶋 洋子（みらい）



Q 鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校は令和3年4月統合予定。統合校は、現在の鷹巣南中学校校舎。校名募集と決定の時期、方法は、

A 統合新小学校名の募集は、8月26日を締め切りとして、対象地区の自治会長から応募用紙を各戸に配布するとともに、市のホームページで市外在住の卒業生にも広く呼びかけた。募集総数は72。

第3回統合準備委員会で詳細を説明し、決定方法をさらに検討し、年内に決定します。

校名決定後に校章・校旗・校歌等についても検討します。

Q 救急医療キット。各地区の配布状況、効果と今後の課題は。

A 鷹巣1159個、合川234個、森吉261個、阿仁21個、合計1675個配布。救急搬送で活用は25件。高齢者の1人暮らしや高齢世帯が増加し、有事の際の貴重な情報源となり得る重要な事業。キットの意義や目的をPRするとともに、キットを持っている人に対しては、玄関貼り付けシールや情報シールの見直し、更新を呼びかけていきます。

Q 平成29年度決算特別委員会で私は、「げんきワールドの土地建物の賃貸借契約の満了が3年後に

迫っている。今後の方向性を出すべき」と質問。市長は、「契約満了を迎える前に事業の見直し必要」と答弁。

検討委員会の結論は賃貸借満了日で終了、事業はコムコムで継続。市長の考えは契約の継続か廃止か。**A** 検討委員会の報告書は、駐車場の充実や路線バス利用者の利便性等コムコムに場所を移しても、事業継続は可能である。意見を真摯に受け止め尊重する一方、事業が衰退しないよう慎重に判断します。



廃止予定のげんきワールド

保護司、民生委員と市の協力体制は

三浦 倫美（共産党議員団）



Q 人生山あり谷あり、多様性を認め寛容性を身につけて、誰もが自分らしく人間らしく生きられる支えあう社会へ。個人的あり方と共に社会的役割を担っている方々の活動への理解と市との協力体制を知ることも大切です。

保護司の活動と市の協力体制は。**A** 保護司は、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員。犯罪や非行をした人の社会復帰を地域で支えるボランティア。北秋田保護区（当市と上小阿仁村）で現在35名が活動。犯罪や非行をした人たちの定期的面接、更生を図るための指導、生活上の助言や就労の手助け、少年院や刑務所からの保釈後の社会復帰に必要な受け入れ体制を整えたり、更生についての理解を深める啓発活動などを行っています。北秋田市は保護司会と協力し、社会を明るくする運動集会を開催し、米代川花火大会でのPR活動など啓発を図っています。昨年度、活動拠点として北秋田地区更生保護サポートセンター（宮前町庁舎改築中は森吉庁舎内）が設置され、各関係機関とも連携、協力して活動しています。

民生委員と市の協力体制は。**A** 民生委員は、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、児童福祉法によって児童委員も兼ねています。社会福祉の増進のためボランティアで地域住民の立場から、生活や福祉全般、子育てに関する相談や援助活動を行い、地域住民の身近な相談相手として支援を必要とする住民と行政や関係機関を結び役割を担っています。

市としては、委員活動への協力体制を継続し連携をとり支援してまいります。



更生保護サポートセンター

農・畜産業の振興と対策について

長崎 克彦（無会派）



Q 当市の農・畜産業は後継者不足と高齢化が進んでいます。また、年々耕作放棄地なども増加傾向にあります。

基幹産業を守り更に発展させるためには「スマート」農業への取り組みが不可欠と考えますが、その取り組みと考え方について伺います。

A 担い手の高齢化が進んでいる当市でも、農作業の省力化や軽労化すべき、いわゆる、スマート農業の活用を導入することが重要となる分野であると考えます。

Q 和牛、比内地鶏の現状と課題について伺います。

A 和牛の飼育農家数は33戸、439頭。比内地鶏は19戸、5万1400羽。いずれも高齢化と後継者不足が大きな課題であります。

Q 少子高齢化による限界集落や戸数が年々減少し自治会運営が困難になっている集落への対応策について伺います。

A 自治会運営が困難な集落への対応については、少子高齢化が進む当市では大変大きな問題であると認識しているので、地域での暮らしを支援する観点から、行政や



坊沢地区の大豆畑

福祉に携わる関係機関と連携して、一つの集落で活動できない事例が発生した場合等には、相談しながら個別に対応して参ります。

Q 地方分権、地方創生が進む中で、岩石採取の許認可事務を当市でも実施すべきと考えますが。

A 昨年3月以降、関係者で検討した結果、「産業振興と利便性」の向上につながることから、20年度から実施できるように関係機関と調整していく。なお、当市では現在7社、10カ所の許認可を受けています。

大型車可能な孫七沢林道早期整備を

福岡 由巳（無会派）



Q 孫七沢林道は昨年5月の小阿仁川氾濫により河岸の法面が大きく崩落し、軽トラでも通るのが危険な状態にある。早急に整備すべきである。また、崩落は川の流れる変化により放置できない状況で護岸工事などを管理者である県に要望すべきでないか。

A 大雨による小阿仁川路肩の崩落は林道敷地内であるため林道管理者が復旧することになり準備を進めている。崩落については河川の被災原因でないとは言えないと思う。しかし、崩落箇所が林道敷地内とのことから河川のほうでは採択できないということであった。

Q 孫七沢林道の未整備等により、伐採等はさらに遅れるものと危惧される。これまで長年、お金と手間をかけてきた市行造林や民有林などが収入になるのか心配するが、収入増を図る方策は何かあるか。

A 植林してから60年と長い年月が経つので、その間の金銭価値、木材価格等の変動により明確な計算はできないのが現状、ただ保育作業、間伐等により良質材を産出することでよい収入が生まれると認識している。



整備計画ない林道崩落箇所

Q 来年3月22日は市政15周年記念日である。市長の本年度施政方針では一切触れず、また予算もついていない。合併してまだ一度も記念誌を発行していない。1つの節目として市民とともに祝うべきでないか。また、市史編さんの態勢づくりはどうなっているか。

A 人それぞれの考え方があるが、15周年を節目とした記念事業や記念誌発行の構想は現在も計画していない。市史編さんは現在資料の確認作業を行っている。

教室にエアコンを設置を

板垣 淳（日本共産党議員団）



Q 3才以上の保育料を無料にする代わりに副食費（おかず代）が新たに徴収される。児童福祉法では食事の提供は保育園の義務だと定めているし、保育料無償化で浮く市のお金の何分の一かあればできることなので、副食費も無料にできないか。

A 在宅での子育てや学校給食は費用をいただいているので保育園でも徴収する。

Q 県内16市町村が副食費を無料にする。津谷市長は「当市の子育て支援策は県内トップクラス」と言うが、半数以上がやることさえやらないのならトップクラスとは言えない。

A 市町村によって考え方が違うのは当然だ。

Q 国の保育料無償化で市の負担が大幅に減る。それを使って思い切って園児全員の保育料を無料にする考えはないか。

A ない。

Q 国民健康保険の「均等割」は産まれるだけで税金をかけるもので、出産祝い金どころか出産ペナルティ。少子化対策に逆行する。子どもの均等割に関わらず、

国保全体のあり方について検討していく。

Q 昨年、教室にエアコンを設置するよう質問したら「教室の気温を調査して検討する」との答弁だった。その結果は。

A 9月末まで調査し、その結果をみて検討する。

Q 今年設置した上小阿仁の子は涼しいところで勉強。北秋田市の子は暑いところで勉強。この違いは教育長の熱意一つ。四の五の言わずに設置すべき。

A 設置する方向で考える。



保育園の給食のようす

所管事務 調査報告

小田原市、 奏野市を視察研修

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、7月10日に神奈川県小田原市、奏野市において議会運営及び議会改革等について所管事務調査を実施しました。

市民アンケートを 議会審議に反映

小田原市では、市民に開かれた議会を目指し、様々な改革や活性化の取り組みを行っており、一例として、議長からの諮問や会派からの提案事項に対して議会改革推進委員会を設置し、取りまとめて答申するという実効性の確保に努めていました。また、市民アンケートを必要に応じて実施するなど、市民意見を議会審議に反映できる仕組み作りを行っていました。

議会のICT化 （情報通信技術）事例

奏野市では、議会改革の一環として、議場に大型スクリーンの設置とタブレット端末導入を行い、議会のICT化を図っていました。傍聴者や議会インターネット中継

を視聴している市民からは、議会での審議内容がわかりやすくなったとの意見があり、タブレット端末導入では、最新の情報がシステム内にあるため、当局側と議会側で情報の共有化が図られ、効率化につながったとの説明がありました。

今回の両市の視察を参考にし、議会改革項目の検証を実施することとし、議会ICT化については導入に向けた協議を図ることを確認しています。



奏野市での研修のようす

第2回 臨時会

保育料の無償化に関わる 条例など4議案を可決



第2回臨時会の議事

○一般会計補正予算

○北秋田市保育料条例の一部を改正する条例の制定について

○北秋田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○北秋田市子育てサポートハウス条例の一部を改正する条例の制定について

主 な 補 正 予 算	補 正 予 算 額
障害児発達支援業務システム改修委託	1, 2 1 7, 0 0 0 円
子ども子育てシステム改修委託	8, 8 8 3, 0 0 0 円
すこやか子育て支援事業副食材料費補助金	4, 5 5 0, 0 0 0 円
無償化に伴う扶助費	6, 4 3 3, 0 0 0 円

令和元年第2回臨時会が8月6日に開かれ、議案4件が上程され、全て可決されました。

条例改正案の3件はいずれも、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が10月1日から施行されることに伴ったもので、このうち北秋田市保育料条例の一部を改正する条例の制定については、「満3歳以上の教育・保育給付認定子どもに係る教育・保育給付認定保護者及び満3歳未満保育認定子どもに係る住民税非課税世帯である教育・保育給付認定保護者については、利用者負担額が無料となることから、所要の規定の整備を行うもの」と説明がありました。また北秋田市子育てサポートハウス条例の一部を改正する条例の制定については、「子育てサポートハウス（わんぱく）の利用料について、要件を満たす子供が利用した場合に市が費用を支給することが定められたため、利用料の改正を行うもの」と説明がありました。

一般会計補正予算については、主に子ども・子育て支援法の一部を改正する法律に伴ったシステム改修委託や副食材料費補助金、保育料無償化による扶助費等について追加されました。

決算特別委員会設置

今定例会には、平成30年度各会計決算の認定24件が提案されました。各常任委員会から選出された委員は次のとおりです。

一般会計決算特別委員会

▽委員長 板垣 淳
▽副委員長 虻川 敬
▽委員 山田 博康
久留嶋 範子
武田 浩人
佐藤 文信
大森 光信
堀部 壽
中嶋 洋子

特別・企業会計決算特別委員会

▽委員長 佐藤 光子
▽副委員長 杉渕 一弘
▽委員 三浦 倫美
小笠原 寿
福岡 由巳
松尾 秀一
長崎 克彦
佐藤 重光
松橋 隆

決算特別委員会審査報告

平成30年度各会計決算認定案24件が各委員会に付託され、去る9月9日の委員会構成から、10月2日までの期間において、特別委員会を開催しました。

一般会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、1件でありました。

審査の最終日には、市長、副市長、教育長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。

付託された「一般会計歳入歳出決算の認定」については、各所管の決算審査のほかに、総括質疑においても「財政状況」「観光施策」「人口減少抑制への取組」「交通インフラ整備」「防災政策」等多岐にわたる質疑があり、各委員より当局に対し、様々な角度から貴重な意見や提言も多く出されました。

決算審査の内容は、監査委員の意見「二年連続の実質単年度収支が赤字に転落したことなどに關して、例外や聖域のない事務事業の改善・改革に全職員で本気で取り組まれない」を踏まえ、次年度以降の「予算編成指

針」としても、大いに期待できる審議となりました。

なお、慎重審査を経た結果、一部の意見の一致がみられず、討論では「財政状況は驚くほど悪化していると指摘されているが原因は経常的経費が膨らんでいるため。大型公共事業建設で借金を増やしたことが表れている。加えてハローキティ事業に3000万円をかける無駄遣いは市民からも批判があがっている」との反対討論がありました。また「予算は今回の決算審査によつて適正に事業執行されていた。監査意見の件についても、市長から行財政改革を徹底して推進すると答弁が得られた」と賛成討論がありました。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

特別・企業会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、23件でありました。審査の最終日には、市長、副市長に対して総括質疑を行いました。認定・不認定の判断に資しました。

介護保険特別会計では、一部で意見の一致をみることができず「引き上げ総額約1億円、基金には約1億円を積んでいる、

歳入歳出差引2億3600円を繰り越したことをみても、引き上げる必要はなかったと判断できる」また「平成30年度の特別会計予算の提案がなされる前に第7期の事業計画がまだ示されていないかった。予算が先行している。平成30年度に向けて、予算と事業計画の矛盾が生じていたのではないか」などの反対討論がありました。

また、病院事業会計決算においても一部で意見の一致をみることができず「医師確保等医療体制充実の取り組みは十分でないこと、また依然として待ち時間が長いなどの接遇の課題、病院の立地条件によるアクセスの課題等、患者の立場から改善すべき課題が山積しており、この点も含め厚生連との指定管理料の在り方など、当市と厚生連との踏み込んだ意見交換が行われなければならないと考える。その点において審査の結果、踏み込んだ意見交換、経営改善への努力は十分とは言えない」などの反対討論がありました。

採決の結果、二つの議案とも賛成多数で認定すべきものと決しました。また、他の認定議案については、全て全会一致で認定すべきものと決しました。

本会議の生中継や録画映像がご覧になれます

北秋田市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、3月定例会よりパソコンやスマートフォンからインターネットを通して本会議の生中継や録画映像が閲覧できるようになりました。

①〔北秋田市ホームページ〕

②〔市議会のページへ〕



①北秋田市議会をクリック



②市議会中継をクリック

③〔議会中継のページへ〕

北秋田市議会 議会中継



③再生をクリック (本会議の生中継がご覧になれます)

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています》

- 対象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



世界から見た「きたあきた」

2018年の夏に日本にやってきて、北秋田市の美しさに感動しました。時間がたち、親切な方々と友だちができました。たった一年間ちょっとですが、愛情を込めて、北秋田市のことを誇らしく、第二のふるさとと呼ばせていただいています。北秋田が日本の「隠された宝石」だと思います。なぜかという、外国人が「日本」と言われたら、東京・大阪の大会や、京都の歴史などを思い浮かぶでしょう。しかし、日本中を遊びまわった上、美しい自然の多い、市民が親切な北秋田市が本当に特別だと気がきました。特徴のある北秋田市がいつも、私にとっての「日本のふるさと」です。



コロラド州にて



京都で弟と一緒に

自己紹介



こんにちは。鷹巣小・中学校で英語を教えているデイン・ラフォントです。25歳で、趣味はテニスやバスケ、読書や絵描きです。アメリカのコロラド州出身です。ロッキー山脈で有名ですので、アウトドアに最適！北秋田市と同じ、自然に恵まれている州です。春、夏、秋は穏やかで、冬は寒くて、雪が多いです。なので、ウィンタースポーツも盛んです！おかげさまで、北秋田市で、快適に過ごすことができます。コロラド州は、プロスポーツの各チームも強くて、オリンピック選手も練習している場所です。

『表紙写真の募集について』

【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市内において、おおむね1年以内に撮影したもの。
- ②未発表のもの。
- ③2～4MBのデジタルデータ（JPG形式）で提供できるもの。

④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。

⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス

【gikai@city.kitaakita.akita.jp】

【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までにお問い合わせします。

【発行日】

5月1日・8月1日
11月1日・2月1日



次の定例会と各常任委員会は「12月」です
市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（阿仁庁舎）
市民福祉（森吉庁舎）
産業建設（合川庁舎）

広報特別委員会
委員長 杉 渕
副委員長 三 浦
委員 佐 藤 武 佐 藤 蛇 川 重 光
光 人 子 敬 美 弘